

連結基準における指標について

当金庫では、子会社は当信用金庫グループの財政状態および経営成績に関する合理的な判断を誤らせない程度に重要性が乏しいと認められるため、連結財務諸表は作成致しておりません。

なお、資産基準、経常収益基準、利益基準及び剰余金基準による割合は下記のとおりであります。

記

下記の算式において、当金庫と子会社間の債権債務及び相互の取引による収益・費用は相殺消去しておりません。

$$\begin{aligned}
 \text{資産基準} &= \frac{\text{子会社の総資産額の合計額}}{\text{当金庫の総資産額}} = \frac{20\text{百万円}}{85,407\text{百万円}} \times 100 = 0.02\% \\
 \text{経常収益基準} &= \frac{\text{子会社の経常収益の合計額}}{\text{当金庫の経常収益}} = \frac{8\text{百万円}}{1,795\text{百万円}} \times 100 = 0.47\% \\
 \text{利益基準} &= \frac{\text{子会社の当期利益のうち持分の合計額}}{\text{当金庫の当期利益}} = \frac{0\text{百万円}}{113\text{百万円}} \times 100 = 0.18\% \\
 \text{剰余金基準} &= \frac{\text{子会社の剰余金のうち持分の合計額}}{\text{当金庫の剰余金}} = \frac{9\text{百万円}}{3,896\text{百万円}} \times 100 = 0.25\%
 \end{aligned}$$